

# ビジターセンター イベント案内

## 県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●ガイドウォーク（無料・申込不要）  
宮ヶ瀬周辺の旬の自然を楽しんでみませんか？  
ビジターセンタースタッフがおすすめコースをご案内します。  
開催日：毎月第1・第4日曜日 13:30～14:30頃

●スライドトーク（無料・申込不要）  
スライドを使って丹沢の美しい自然や生きものを紹介いたします。  
開催日：毎月第1・第4日曜日以外の土・日・祝日 13:30～14:00

## 環境省 箱根ビジターセンター

●夏休み特別イベント 8月1日（日）～22日（日）

- 1 早朝散歩～朝の野鳥と草花を観察しよう～  
時間：6:00～7:00  
集合場所：箱根ビジターセンター前
- 2 大涌谷観察会～ビジターセンターと大涌谷を往復～  
※片道での参加も可能です。  
往路 時間：10:00～12:00  
集合：箱根ビジターセンター  
復路 時間：13:00～15:00  
集合：大涌谷湖尻自然探勝歩道入口

3 クラフト～オリジナルのブローチ、キーホルダー作り～  
費用：200円（材料費）  
集合：箱根ビジターセンター

●秋の湯坂道と石仏石塔群を訪ねて  
実施日：9月11日（土）  
締め切り：8月26日（木）  
参加費：大人1,200円 小学生以下700円（保険代、バス代）  
集合：小田原駅 8:30  
解散：小涌谷駅 15:00（予定）  
応募方法：往復はがき 住所、氏名、年齢、性別、電話番号をご記入の上  
下記住所箱根ビジターセンター『イベント名』宛。  
メール：hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp

## 県立秦野ビジターセンター

●企画展「丹沢の森～役割とのお手入れ～」  
ただ今開催中です!!  
内容：丹沢の主な森の役割とお手入れについて、そこでくらす  
様々な生きものたちの繋がりを交えて考えてみませんか？  
開催日：9月20日（月）まで

●ガイドウォーク（無料・申込不要）  
ビジターセンター周辺の自然をスタッフがご案内します。  
自然の中で不思議な発見と一緒にしてみませんか？  
開催日：毎月第4日曜日 10:30～12:00頃

●スライドトーク（無料・申込不要）  
生きものや景色の写真・標本などを用いて、  
丹沢の自然を楽しくご紹介します。  
開催日：毎週土曜日、祝日 13:30～14:00

## 県立丹沢湖ビジターセンター

●自然教室「安全登山のためのGPS講座」  
内容：GPSの基本操作とGPSを活用した地図読みを、座学と実習を  
通じて学びます。  
開催日：平成22年9月4日（土） 9:00～16:00  
募集：定員15名（高校生以上） ※応募者多数の場合は抽選  
参加費：2,000円  
締切：8月21日（月）  
講師：上坂和久さん（山とGPSの専門家）  
場所：県立西丹沢自然教室と周辺の登山道  
申込方法：往復はがきかFAX（返信用FAX番号明記）に、行事名、  
参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を明記の上  
下記住所まで。（締切日必着）

※県立ビジターセンターの「ガイドウォーク」、  
「スライドトーク」は、行事などの都合により  
中止または日程変更する場合がございます。  
また、10名以上で参加の際は事前にお問い合わせ下さい。



2010  
8月号  
No.78

# 神奈川自然公園だより

～自然公園から季節のたよりをお届けします～  
丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

## 秦野ビジターセンター ヤマビルに関連したお話し...



その1 丹沢の最高峰『蛭ヶ岳』の“ヒル”とは！？  
山名の由来には諸説あります。「昔、修験者が<sup>びるしゃなぶつ</sup>“毘盧斜那仏”を置いたから」や、「“ヤマビル”が多いから」、「山の形が猟師のヒル帽子に似ている」などです。（ちなみに現在蛭ヶ岳山頂は開けておりヤマビルにはお目にかかりませんので、ご安心下さい。）  
写真：姫次から見た蛭ヶ岳の山容

その2 東丹沢を中心に増え問題になっているヤマビルですが、表丹沢山麓でも数年前から生息域を広め増えています。今年7月10日（土）から、表尾根の登山口大倉バス停横の休憩室内（どんぐりハウス横）に、ヤマビル対策用の塩が設置されました（秦野市観光課）。ヤマビルをこれ以上増やさない様、見つけたら必ず処分をお願いいたします！詳しくはビジターセンターまで、お問い合わせ下さい。

真夏は梅雨時期に比べヤマビルの活動が若干静まりますが、登山者にとっても暑く厳しい季節です。ビジターセンターでは展示以外にも様々な丹沢関連の書籍を閲覧できます。たとえば山名の由来なども。たまには館内でのんびり、おもしろい情報を探すのもお勧めです！（柳川）



## 自然公園へ出かけよう



- |   |   |
|---|---|
| <p><b>県立宮ヶ瀬ビジターセンター</b><br/>〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15<br/>Tel046-288-1373 Fax046-288-1162<br/>開館時間 9:00～16:30<br/>(1/4～2/28は16:00閉館)<br/><a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/">http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/</a></p>   | <p><b>県立丹沢湖ビジターセンター</b><br/>〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515<br/>Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777<br/>開館時間 9:00～16:30<br/>(1/4～2/28は16:00閉館)<br/><a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/">http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/</a></p> |
| <p><b>県立秦野ビジターセンター</b><br/>〒259-1304 秦野市堀山下1513<br/>Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311<br/>開館時間 9:00～16:30(通年)<br/><a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/">http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/</a></p>                         | <p><b>県立西丹沢自然教室</b><br/>〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9<br/>Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940<br/>開館時間 8:30～16:30(通年)<br/><a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/">http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/</a></p>                  |
| <p><b>県立陣馬自然公園センター</b><br/>〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3<br/>Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270<br/>開館時間 9:00～16:30<br/>(12/1～3/31は16:00閉館)<br/><a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/">http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/</a></p> | <p><b>環境省箱根ビジターセンター</b><br/>〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧札場164<br/>Tel0460-85-9981<br/>開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)<br/><a href="http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/">http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/</a></p>                          |

## 宮ヶ瀬ビジターセンター

## 生きものに出会っては?

夏です！生きものたちに出会うチャンスが多い季節です！生きものを探るとき、みなさんはどんなところに注目しますか？山を歩くと、探しやすいポイントをお伝えします。

まずはオーソドックスに花。登山道付近に咲く花にもたくさんの虫たちがやってきます（写真①②）。そして木の幹に空いた洞や根もとの空間も、利用しやすい場所です（写真③）。ただし、洞はスズメバチの仲間が巣を作ることがあるので、のぞく前には必ず、離れたところから気配を伺いましょう。最後は…動物のフンです！ちょっと鼻に刺激がありますが、固定観念を捨て、じっくり観察すると新たな出会いが！フンを生活の糧とする生きものたちがやってきています（写真④）。

ぜひ、みなさんも、生きものがいそうな場所を想像して、たくさんのお出合いを体験してください！（鈴木）



①キオンにやってきたヒョウモンチョウの仲間



②テンニンソウで蜜を集めるハナバチの仲間



③木の根元にアズマヒキガエルがじっとしていました。湿った土の上で暑さを避けていたのかもしれない。



④フンを運ぶオオセンチコガネ

## 丹沢湖ビジターセンター

## 大忙しの季節

夏になるとあちこちでハチの姿を見るようになります。注意して探すと普段は気付かない所にもハチの巣があるかもしれません。木の枝などから吊り下がっていてよく目につくのは、まだら模様のボール状の巣（写真①）ですが、地中に巣を作るハチやとっくり状の巣を作るハチなどもあります。多くの巣は木材をかみ砕いたものが材料となっていますが、とっくり状の巣には泥が使われています。（写真②）

キボシアシナガバチの巣は筒をいくつも束ねた形状に、入口が黄色いのが特徴で、女王バチはこの中に卵を産みます（写真③）。孵化した幼虫を育てるのは働きバチで、幼虫が食

べる肉ダンゴをせっせと運んできます（写真④）。働きバチが食べるのは幼虫が出す液体や花の蜜などで、肉ダンゴを食べることはありません。他の昆虫、特にイモムシなどを肉ダンゴにするため、葉っぱを食べるイモムシが増えすぎるのを防ぐ役割を持っています。

ハチは巣を守ろうとする時興奮した時に刺すことがありますが、普段は積極的に人間を襲うことはありません。巣の材料や昆虫を探して飛び回っている大忙しの働きバチの邪魔をせずハチを刺激しないようにそっと見守ってくださいね。（楯谷）



①ボール状の巣



②とっくり状の巣



③キボシアシナガバチ



④クロスズメバチの仲間（肉だんごを作っているところ）

## 箱根ビジターセンター

## まるで、台風並み

7月も下旬になると全国的に梅雨が明けて、箱根にも徐々に日差しが差し込み始め日中はカンカン照りです。しかし、この梅雨明け直前に実は嵐がありました。突風は吹き荒れ、雨は豪雨で芦ノ湖の水位を急激に上昇させる程。そんな嵐のような日が2、3日続き、周辺森林に被害が発生しました。木々の枝は折れ曲がったり、他にはせっかく咲いたヒメシャラの花も吹き飛ばされる事態に（泣）。せっかく補修したナナカマドも倒れる始末。梅雨明け最後の最後で大きな爪痕を残してしまいました。



## ツバメの子

6月下旬、巣から落ちたツバメのひなが保護されてきました。

まだ産毛が残り目も開かない小さな子でしたが、皆の協力で何とか大きくなって、今は飛翔と採餌の練習をしています。上手にできるようになったら仲間のたくさんいるところで放そうと思っています。

動物の子供達が親離れをするこの時期は保護されてくる動物達も多くなります。特に鳥のひなはまだ未熟な状態で巣立ち、それから親がつきっきりで生きていくための術を教え込みます。そのため心優しい人間に、間違っ保護されるという誘拐事件が多発してしまうのです。か弱いひなが一人ぼっちでいてもちょっと待って！親鳥が近くにいるかもしれません、少し離れたところで見守る勇気を持ってください。だって私たち人間がどんなに頑張っても親には敵いませんからね。（加藤 石原）



## 陣馬自然公園センター

## いよいよ夏本番!

夏雲といえば入道雲、夕立雲、雷雲など、山頂からの真っ青な空にむくむく立ち上がる雲の峰は、まさに雄大です。登山道脇に咲くヤマユリが濃厚な香りを漂わせ、木々の青々と茂った葉が、強烈な日差しをさえぎり、吹き抜ける風が肌に触れ、心地よさを感じます。また、沢沿いに咲くタマアジサイの花は、山頂を目指す登山者に一時の涼を与えてくれます。

陣馬山頂では、チダケサシ、ウバユリ、シシウド、オトギリソウなどの夏の花々が咲き誇り、アサギマダラ、サカハチチョウ、キアゲハ、カラスアゲハなどの蝶が舞っています。



タマアジサイ



サカハチチョウ

若者の間で登山がブームになってきています。そのため今年には例年以上に陣馬山登山を楽しむ若者のグループが多く訪れています。体力を過信せずに、余裕のある行動計画を立ててください。また、夏の暑さは想像以上にバテます。いつも以上に水分を持参し、こまめな水分補給を心がけてください。

7月に陣馬自然公園センター玄関横に登山者カードポストを設置しました。山で遭難が発生した場合には登山者カードをもとに捜索・救助が行われます。地図・コンパス・雨具などの登山装備とともに、登山者カードの投函を忘れずに出発してください。（荒井）



チダケサシ



オトギリソウ